

# 教師ノート

|                             |  |
|-----------------------------|--|
| 週課                          | 第一年 第一課 第四週  |
| 単元                          | マタイの福音書・1  |
| テーマ                         | 地の塩・世の光であることを喜び、その役割を果たす   |
| タイトル                        | 地の塩、世の光  |
| テキスト                        | マタイ5:13-16   |
| 参照箇所                        | マルコ9:50、ルカ14:34-35、ヨハネ8:12   |
| 暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)  | マタイ5:13 or マタイ5:14   |
| AG 日曜学校教案参照箇所               |  |
| □導入                         | <p>イエスさまが宣教を開始されるとたくさんの方がイエスさまの教えを聞くために集まるようになりました。イエスさまは、山の上でその人たちに色々なお話をされました。</p>   |
| □ポイント1 あなたがたは地の塩です(13節)     | <p>イエスさまは、人々に「あなたがたは、地の塩です」とおっしゃいました。イエスさまを信じた人たちは、地上で、塩のような役割をするということです。塩は食べ物を腐らせないようにする働きがあります。冷蔵庫が無い時代から、魚や肉を保存するために塩漬けにという方法が用いられてきました。リンゴの皮をむいた後、塩水に入れておくと、腐る(酸化する)のを防ぐことができるので、リンゴは茶色くなりません。また、塩水でうがいをするのは、塩に消毒作用があるからです。お相撲さんが土俵に塩をまくのも、昔から塩は「聖め」の役割があると考えられてきたからです。塩は、バイ菌を消毒し、食べ物が腐るのを防ぐ働きをするのです。</p> <p>イエスさまが私たちを「地の塩」と呼ばれたのは、この社会が腐っていくのを食い止める働きをするからです。毎日、ニュースで恐ろしい事件を聞くのは、人々の心が汚れ、社会がどんどん悪い方へ向かっているからです。クリスチャンは、人の心をきれいにし、世の中が腐らないようにする役割を持っています。</p> <p>クリスチャンがその役割をしなくなったら、誰もそれができません。塩けをなくしてしまった塩に、塩味を足すことができるものではありません。塩が塩の役割を果たせなくなったら、他のものでは代用できないのです。クリスチャンがいなくなったら、この世はどんどん腐っていきます。しかし、私たちは、この地にいるのですから、責任をもって、塩の役割を果たしていきましょう。</p> |
| □ポイント2 あなたがたは世界の光です(14-15節) | <p>イエスさまは、また「あなたがたは、世界の光です」ともおっしゃいました。もともと、「世の光」はイエスさまです(ヨハネ8:12)。私たちは、私たちの内に住んでくださるイエスさまの輝きを放ち、イエスさまの光を反射して輝くのです。</p> <p>光の役割は、暗闇を照らし、明るくすることです。私たちはこの社会や人々の心が暗くなっていかないように、イエスさまの光で明るく照らすことができます。クリスチャンの輝きを見て、まわりの人がイエスさまを見出すことができるのです。暗闇で光が放たれると、必ず光が勝ちます(ヨハネ1:5)。暗闇が光を覆ってしまうことは絶対にありません。</p> <p>「あかりをつけて、それを柀の下に置く者はありません」と言われているように、わざわざ隠すために光を用意する人はいません。私たちもイエスさまの輝きを持っているのに、隠してしまっては意味が無いのです。クリスチャンが輝かなければ、誰もイエスさまの希望を見出すことができず、愛のない冷たい世界になってしまうのです。この世界を明るく照らす、光の役割を、しっかり果たしていきましょう。</p>   |

### □ポイント3 あなたがたの光を人々の前で輝かせなさい(16節)

クリスチャンの光を人々の前で輝かせましょう。学校やお友だちの前で、良い行いをするのは、簡単なことではありません(ふざけているお友だちを注意すること、一緒になって悪口を言わないこと、仲間はずれになっているお友だちを助けることなど)。実際に山の上でイエスさまの話を聞いていた人たちの中にも、イエスさまを信じたことによって迫害されていた人も多くいたのです(マタイ5:10~12を読みましょう)。イエスさまはその人たちに向かって、「あなたがたは地の塩・世界の光です」とおっしゃいました。

じつは、地の塩・世界の光の役割を果たすとき、必ずしも周りの人から褒められたり、感謝されたりするわけではありません。むしろ、からかわれたり、迫害されたりすることも多いのです。もともと、地の塩世の光として人々の前で良い行いをするのは、私たちが褒められたり、感謝されたりするためではありません。人々が神さまのすばらしさを知るためです。「あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい」とあるとおりです。クリスチャンは、例え迫害されても、隠れるのではなく、人々の前で輝いていくのです。それは、私たちが注目されるためではなく、イエスさまの御名がほめたたえられるためです。

### □結論 イエスさまは「あなたがたは地の塩・世の光です」とおっしゃいました

#### □適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

みなさんの存在は、この地の塩、この世界の光です。その役割と責任をイキイキと果たしていきましょう!! あなたに塩味や、輝きを与えてくださるのはイエスさまです。

自分がクリスチャンだということを、お友だちに怖くて言えない人がいるかもしれません。お祈りして、イエスさまに勇気をもらいましょう。あなたは地の塩・世界の光という、すばらしいものですから、堂々とよいのです。イエスさまは、あなたを通して、そのすばらしさを表したいと望んでいらっしゃるのです。

イエスさまを信じた人は、すでに地の塩・世の光です。「地の塩になりなさい」とか「頑張って光りなさい」と言われているわけではありません。本当にイエスさまとの深い愛の関係の中にあるなら、私たちはもう、地の塩・世界の光なのです。頑張って何かをしようとするより、いつも聖霊さまに満たされ、イエスさま中心に生きていくことが大切です。

#### ☞例話(必要に応じてメッセージに挿入しましょう)

◇食べ物の味付けに塩は欠かせません。私たちが食べる料理のほとんど全てのものに、塩が入っています。おにぎり・ハンバーグ・味噌汁・ラーメン・お寿司・スパゲティ・フライドポテトなど、塩味が無かったら、おいしくないですね。

◇塩は、料理に混ぜると透明になります。目立たなくても、何気ない行動で、イエスさまの愛の味(香り)を放つことができます。逆に塩は多すぎるとしょっぱくて、せっかくの料理が台無しになります。

◇おしるこのような甘いものにも塩が入っています。すいかに塩をかけると甘くなります。野菜をゆでるとき塩を入れます。これは、塩が食べ物の味を引き出す役割をするからです。クリスチャンは相手の味を引き出すことができます。ひとりぼっちで悲しんでいる人、傷ついて弱っている人のとなり人になって、その人がイエスさまの愛と希望で生き生きとするように、助けることができます。

◇長い洞窟の中を歩いているとき、私たちは不安になります。しかし、遠くに出口の光が見えたら、そこまで歩く元気が湧いてくるでしょう。私たちの輝きを見て、周りの人に元気になってもらいましょう。

◇暗い夜にロウソクの光をとると、温かい気持ちになりますね。イエスさまの愛の光が輝くと、私たちの心は温かくなります。